

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

文教大学生のパソコン所有に伴う効果の調査

2007年1月

情報学部 広報学科 3年

平野 彩

文教大学生のパソコン利用状況に伴う影響の調査

平野 彩

目次

第1章 研究の概要	・・・1
1.1 研究の背景と目的	・・・1
1.2 研究の方法	・・・1
(1) 進捗経緯	
(2) 調査の概要	
1.3 成果の概要	・・・2
第2章 研究の成果	・・・3
2.1 回答者の概要	・・・3
2.2 現代の大学生のパソコンの必要性	・・・3
(1) 自分専用のパソコンの有無と住居形態	
(2) パソコン購入の理由	
(3) パソコン所有期間と一日の利用時間	
(4) パソコンと携帯電話のwebサイト閲覧頻度	
(5) 目的別のパソコン利用頻度	
2.3 学生の大学生活について	・・・8
(1) 大学入学意図	
(2) プライベートの過ごし方	
2.4 睡眠時間とその影響	・・・10
(1) 睡眠時間とアルバイト就労時間の比較	
(2) パソコンのwebサイト閲覧時間と睡眠時間の比較	
2.5 授業出席状況と単位取得状況	・・・12
(1) 授業出席状況とパソコンの有無	
(2) 単位取得状況とパソコンの有無	
第3章 まとめと今後の課題	・・・15
参考文献	・・・15
単純集計結果	・・・15

第1章 研究の概要

1.1 研究の背景と目的

パソコンなどの情報機器は、ここ数年で家庭内に急速に普及してきている。今や我々の生活に欠かせないものとなったこの情報機器。コンピュータがこの世に登場して以来、度重なる技術革新により高性能で安価な小型コンピュータ「パソコン」が一般消費者にも身近なものとなった。特に近年におけるその普及はめざましく、1998年3月現在、日本の一般家庭における普及率は家庭で25.2%（経済企画庁『消費動向調査』）、企業における保有台数は約400万台であるという。

10数年前は「パソコン」といえば、オフィスの自席や仕切られた場所で業務に利用するものであったという印象が強い。今やオフィスではもちろん、家庭でもパソコンは日常的に使われるようになっており、“パソコンは必需品”との言葉にも違和感はない。

ブロードバンド環境が整い、機器は軽く薄くなり、職場や家庭だけでなく外出先でもパソコンからの情報を得ることができる時代になっている。

こうした状況の中、国内パソコン出荷は平成12年度(2000年度)に台数・金額ともに過去最高を記録した。そののち景気低迷の影響を受け、2年連続で前年割れする厳しい状況にもなったが、平成15年度は台数ベースで3年ぶりのプラス成長に転じ、金額もほぼ横這いに戻った。平成16年度は、台数・金額ともに引き続きプラス成長を見込んでいる。

このように、老若男女を問わずパソコンは浸透し、新聞、テレビなどのメディアもパソコンを取り上げない日はないくらいである。パソコンはその発展に伴って私たちに利便をもたらし、そのライフスタイルにまで影響を与えつつある。私たちの周囲の学生にも広く普及し、中には文房具のように必需品として使いこなしている者もいる。他方では、自分専用のパソコンを所有していない物もあり、活用のされ方の幅は広い。そこで本調査では、学生のパソコンの利用度に着目し、それに伴う学習状況の影響について調べる。

1.2 研究の方法

(1) 進捗経緯

- ・ 4月～5月 文献による情報収集
- ・ 6月～7月 調査テーマ案についての討論
- ・ 8月 調査テーマの決定
- ・ 9月 ゼミ合宿において、調査票最終討論
- ・ 10月 調査票最終案完成
- ・ 11月 学内で調査実施、調査票の集計
- ・ 12月 研究報告書提出

(2) 調査の概要

- ・ 調査の意図

パソコンに向かっている時間が多い人の方が、そうでない人よりも学習意識が高いのではないか。

パソコン購入暦が長いほど、利用時間も長いのではないか。

自宅にパソコンを置くことによって、学習意識が高まるのではないか。

・調査対象者

文教大学生（調査集計法：18人、観光ビジネス論B：95人）。授業時間に協力を得て配布し、回収した。

・調査方法

授業内にて手渡しによるアンケート調査

・主な質問項目

パソコンを持っているか

パソコン・携帯電話の利用時間

パソコンを購入してどのくらいか

アルバイトの勤務状況

大学の入学意図

大学の授業の学習状況

一日平均の睡眠時間

1.3 成果の概要

ほとんどの学生が自分専用かそうでないかわからず、パソコンを所持していることがわかった。パソコンの購入暦や利用時間は人それぞれであるが、それに伴う学習状況への影響は少なからず現れていることがわかった。

パソコンの利用意図を平均的に見ると、やはり、趣味という回答が最も多く、全体を100%と考えると7割近くがその要素に値するということになる。しかし、その一方、およそ3割が学習や仕事を目的としている。なので、パソコンの用途は、すべてが趣味ということではないということになる。

また、傾向として、パソコンを所持している人の方が所持していない人よりも学習意欲が高いという傾向が見えてきた。以下にこの事柄を詳しく示す。

[謝辞]

本研究においては、調査の実施に際して多くの学生諸氏から回答を頂いた。この調査協力に対しては心から御礼を申し上げる次第である。調査票を作成するまでの過程では、ゼミのメンバーをはじめとして、多くの方から示唆を頂いた。また研究の実施全般に対しては、指導教授の八ツ橋先生から様々な示唆を頂いた。これらみなさんに対して、改めて謝意を表します。

第2章 研究の成果

2・1 回答者の概要

文教大学湘南校舎にて、パソコンの利用状況とそれに伴う影響についての調査を行った。回答者の結果を示す。

なお、回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2-1-1 と表 2-1-2 で確認しておく。表 2-1-1 の学年別の分布では、2 年生が約 50%と半数を占め、次いで 3 年生が約 37%、4 年生が約 12%、1 年生がゼロであった。また、表 2-1-2 の性別の分布では、男子が約 43%、女子が約 57%とほぼ半々であった。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表 2-1-1 回答者と母集団の比較：学生別分布

	1 年	2 年	3 年	4 年	計
回答者	0 (0)	50.4 (57)	37.2 (42)	12.4 (14)	100.0 (113)
湘南キャンパス 学生	27.7 (942)	26.4 (899)	23.0 (784)	22.9 (780)	100.0 (3405)

(注)母集団は湘南キャンパス学生(2006.10 末時点)である。

表 2-1-2 回答者と母集団の比較：性別分布

	男子	女子	計
回答者	43.4 (49)	56.6 (64)	100.0 (113)
湘南キャンパス 学生	52.0 (1770)	48.0 (1635)	100.0 (3405)

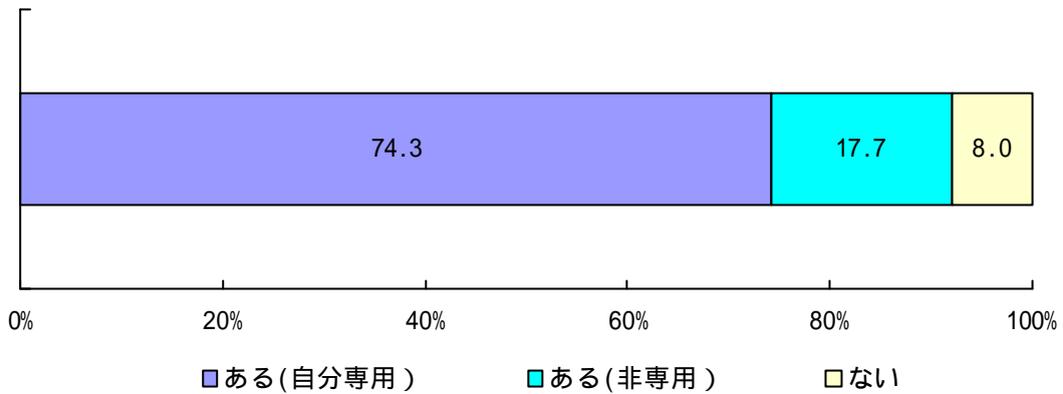
(注)母集団は湘南キャンパス学生(2006.10 末時点)である。

2・2 現代の大学生のパソコンの必要性

(1)自分専用のパソコンの有無と住居形態

ここでの設問は、パソコンの有無について、「ある(自分専用)」、「ある(非専用)」、「ない」、の 3 つの選択肢を作り調査を行う。非専用というのは、家族や兄弟と共同で使っていることを表す。調査し集計した結果を図 2-2-1 に示す。

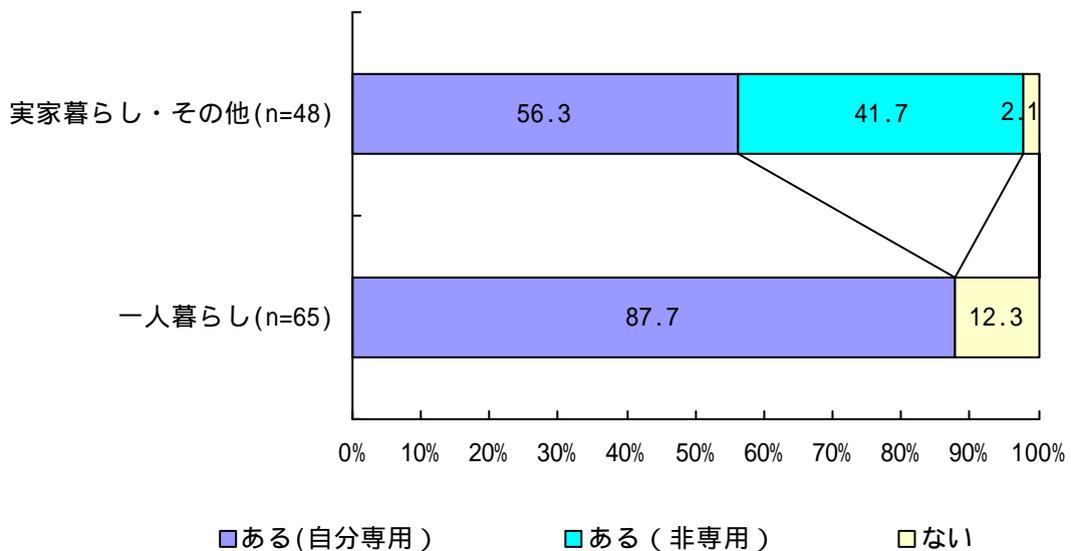
図 2-2-1 自分専用のパソコンの有無



パソコンの有無については、自分専用のパソコンを持っている人が約 74%と圧倒的に多く、ほとんどの学生が自宅に自分専用のパソコンがあることがわかる。そして、自分専用ではないがあると答えた人は約 18%。持っていない人が 8%であった。

そこで、自分専用のパソコンの有無への回答から、「実家暮らし・その他」と「一人暮らし」のグループを作り、集計した。「実家暮らし・その他」の「その他」としては、兄弟・姉妹と一緒に暮らしているなどがある。その結果を図 2-2-2 で示す。

図2-2-2 自分専用のパソコンの有無と住居形態

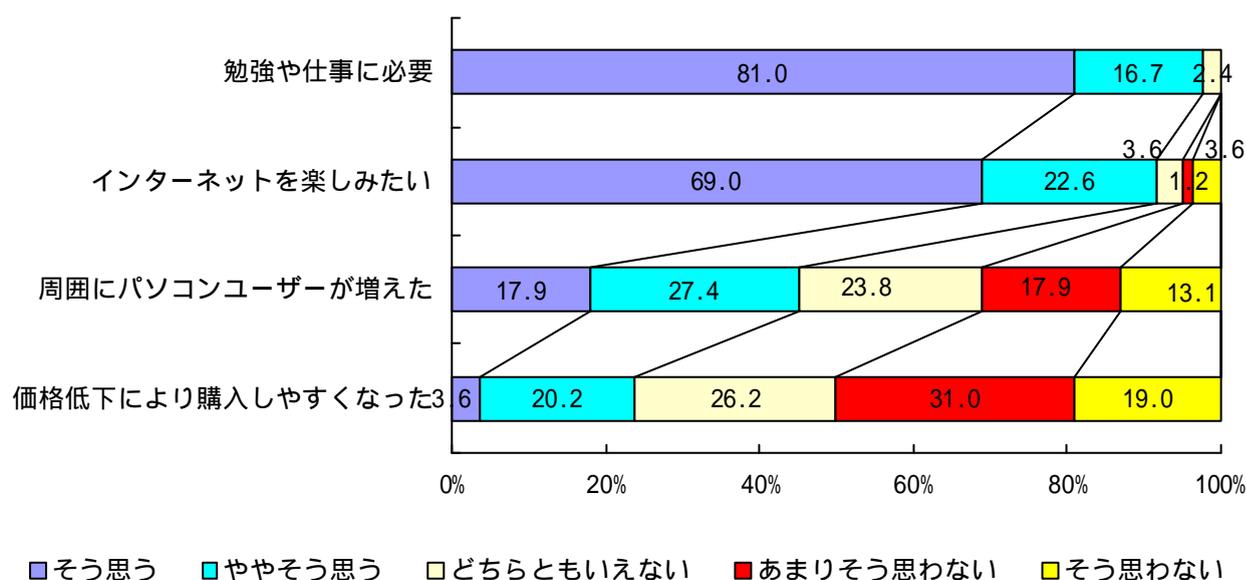


一人暮らしのグループも、実家暮らし・その他のグループも、両者とも自分専用のパソコンを持っている人が多かった。ただし、実家暮らし・その他のグループは、約 42%が自分専用ではないがあると答えていて、家族と兼用でパソコンを使っていることがわかる。また、パソコンを持っていない人に関しては、一人暮らしの人が約 12%なのに対し、実家暮らし・その他の人は約 2%で、差が見られた。

(2)パソコン購入の理由

パソコン購入の理由として考えられる、「インターネットを楽しみたい」、「勉強や仕事に必要」、「価格低下により購入しやすくなった」、「周囲にパソコンユーザーが増えた」という4項目から、それぞれどの程度パソコン購入者に影響を与えているかを調査した。そしてその4項目について、そう思う・ややそう思う・どちらともいえない・あまりそう思わない・そう思わないの5つの選択肢を作り、調査をした。集計をした結果を図 2-2-3 で示す。

図2-2-3 パソコン購入のきっかけ



ここからわかることは、一番該当度合いが高いものが「勉強や仕事に必要」という項目で、「価格低下により購入しやすくなった」という項目は、あまり影響を及ぼしていないことがわかる。また、このグラフを見ると、パソコン自体の価格や周りのパソコンユーザーに関係なく、自分自身の娯楽や勉強などの目的でパソコンを購入しているという傾向が見られる。

(3) パソコン所有期間と一日の利用時間

図2-2-4 パソコン所有期間と一日の利用時間 $2 \times \chi^2 = 0.048$

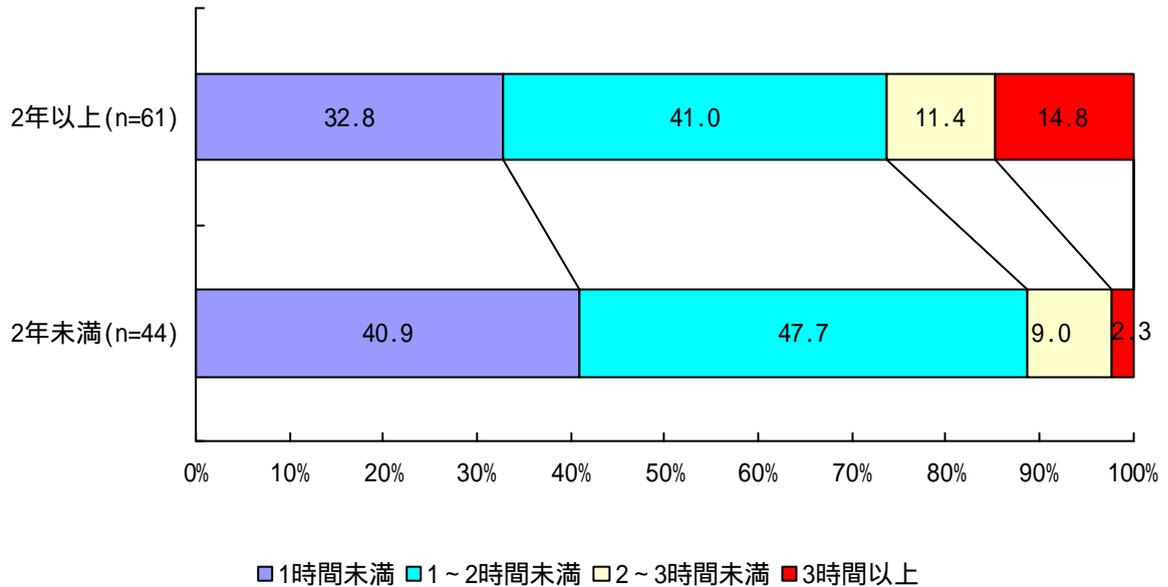
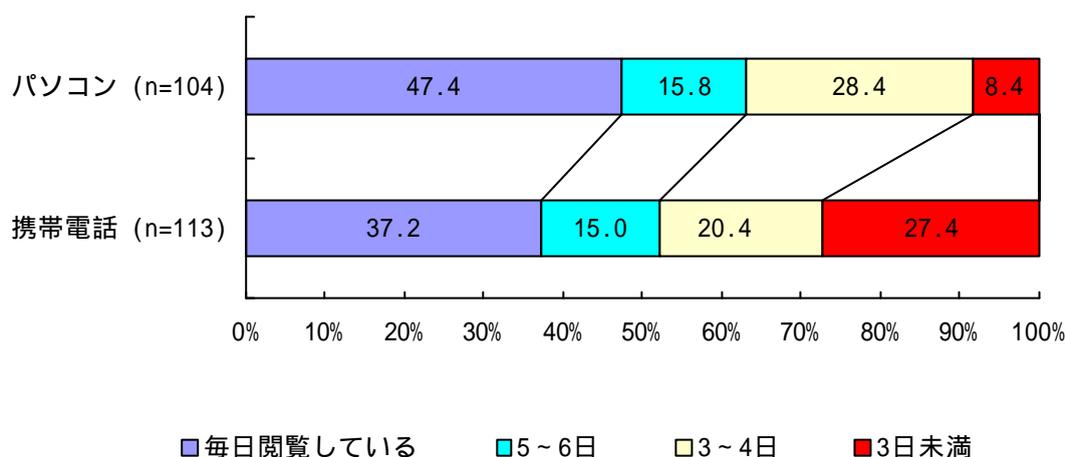


図 2-2-4 は、一日のパソコン利用時間の設問への解答から、2 年以上のグループと 2 年未満のグループを作り、グループ毎に利用時間を集計したものである。実際に、パソコン所有期間が 2 年以上の人は 61 人、2 年未満の人は 44 人であった。両グループとも利用時間で最も多かったのは、1~2 時間未満であった。両グループともあまり差がないように見えるが、3 時間以上の利用に着目してみると、2 年未満のグループが約 2%なのに対し 3 時間未満のグループは約 15%と差が大きく見られる。パソコンの利用時間を 2 時間未満と 2 時間以上で比べてみると、パソコン所有期間の長い方が長時間利用していて、パソコン所有期間の短い方が短時間利用の傾向が見えた。

(4) パソコンと携帯電話の web サイト閲覧頻度

パソコン利用者と携帯電話利用者の 1 週間の平均 web サイト閲覧頻度の割合を図 2-2-5 に示す。

図2-2-5 一週間のwebサイト閲覧頻度

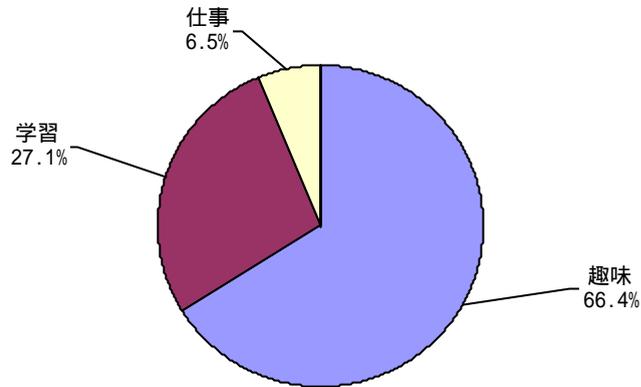


パソコン利用者と携帯電話利用者の 1 週間の平均 web サイト閲覧頻度を比較してみると、毎日閲覧しているという人が、パソコン利用者では約 47%とおよそ半数近く占めていて、携帯電話利用者は約 37%であった。逆に 3 日未満と答えた回答者は、パソコン利用者が約 8%で携帯電話利用者が約 27%と大きく差が開いた。この結果からわかるのは、パソコンと携帯電話の web サイト閲覧頻度を比較すると、パソコンで閲覧している頻度の方が多いことがわかる。また、だいたいの学生が週の半分以上“パソコン”で web サイト閲覧頻度しているということだ。

(5) 目的別のパソコン利用頻度

パソコンを利用するに当たってその目的は人それぞれである。利用時間全体を 100%と見たとき、趣味・学習・仕事の三つの要因はどの程度の割合を占めるのか調査した。そしてその 3 つの要因の平均値をとって集計したものを図 2-2-6 で示す。

図2-2-6 目的別のパソコン利用頻度



趣味を目的としてパソコンを利用している人が最も多く約 66%と半数以上を占めていて、学習を目的としている人が約 27%、仕事を目的としている人が約 7%であった。パソコンは主に趣味として使っている学生が多いことがわかる。しかし、学習や仕事で使っている割合も全体で 3 割を越しているので、パソコンというものをイコール趣味と考えるのは違うということがわかる。

2.3 学生の大学生活について

(1) 大学入学意図

大学に入った目的と思われる選択肢を 4 つ作り、それにその他の選択肢を増やし、計 5 つの設問で調査を行った。その結果を図 2-3-1 で示す。

図 2-3-1 大学に入った目的

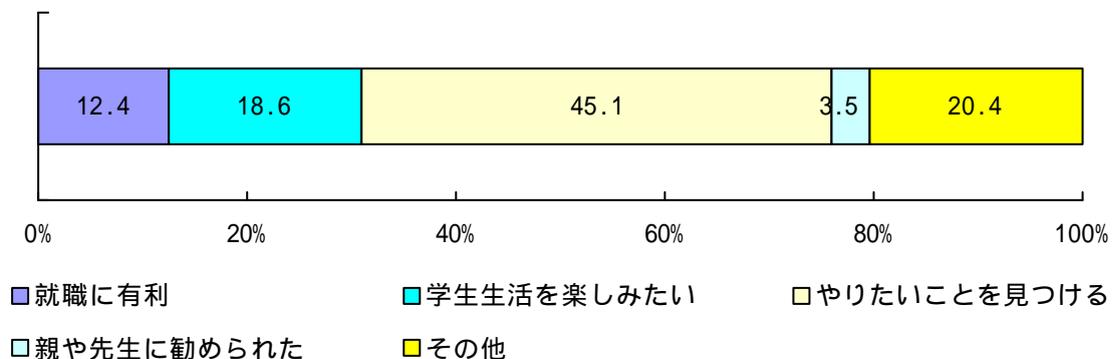


図 2-3-1 から言えることは、半数近くの約 45%の学生が、大学入学意図で“やりたいことを見つけるため”と挙げていることがわかる。このとき、“就職に有利だから”と“やりたいことを見つけるため”を「高学習志向グループ」、 “学生生活を楽しみたいから”と“親や先生に勧められたから”と“その他”を「低学習志向グループ」に分けて分析することにする。このグループ毎に、パソコン所持の有無を集計した。その結果を図 2-3-2 に示す。仮説としては、高学習志向グループはパソコン所持率が高く、逆に低学習志向グループはパソコン所持率が低くなると考えた。

図2-3-2 パソコン所持と学習志向

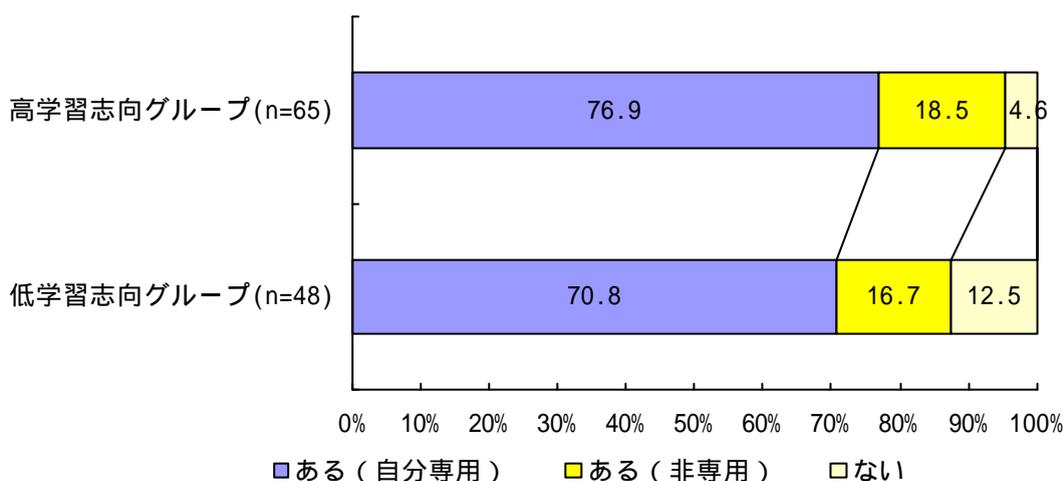


図 2-3-2 からいえることは、高学習志向グループのほうが低学習志向グループよりもパソコンを所持していて、低学習志向グループのほうが高学習志向グループよりもパソコンを所持していない人が多かった。それに加え、自分専用のパソコンがあると答えた割合を二つのグループで比較してみても、高学習志向グループのほうが多いという傾向が見られた。

(2) プライベートの過ごし方

大学生活の中で、授業や学習以外の時間は何をしておこなっているか調査した。その集計結果を図 2-3-3 で示す。

図2-3-3 授業や学習以外の時間の過ごし方

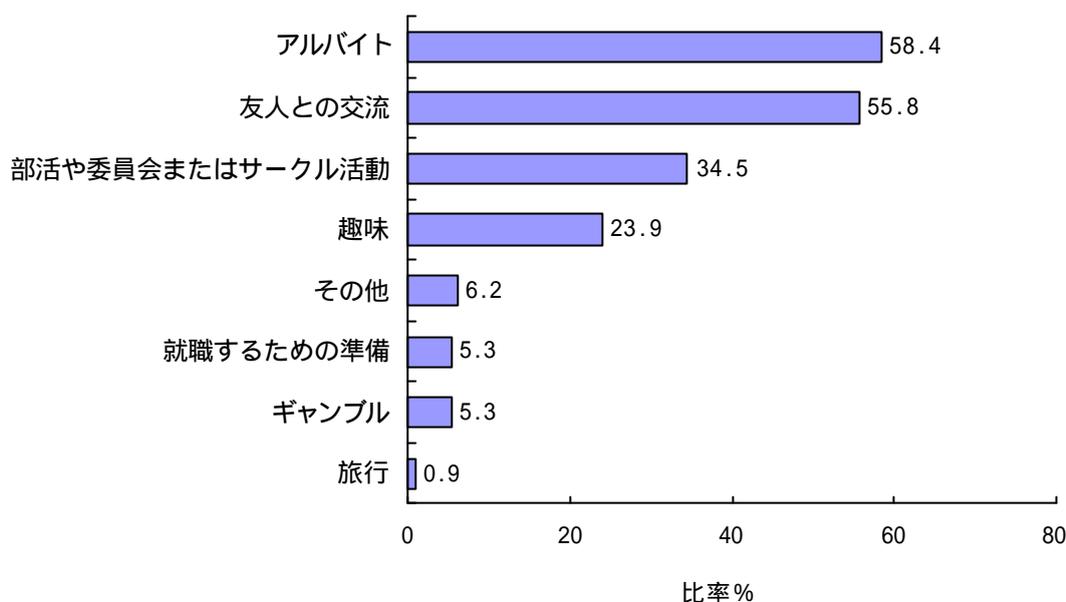


図 2-3-2 は、大学生活の中で授業や学習以外の時間は何をしておこなっているかを集計した結果である。この設問は 2 つ以内に をつけてもらい、調査を行った。結果からわかることは、学生の主なプライベートの過ごし方は“アルバイト”と“友人との交流”である。少しの差ではあるが“アルバイト”と答えた人が約 58%いて、最も多かった。

2.4 睡眠時間とその影響

(1) 睡眠時間とアルバイトの就労時間の比較

学生生活は、ほぼ、アルバイトと学校生活で成り立っていると言っても過言ではない。調査の結果、およそ 8 割近くの学生がアルバイトをしていることがわかった。その就労時間と、一日平均の睡眠時間はどのように関係してくるのだろうか。睡眠時間が 5 時間未満の人を短睡眠グループ、5~7 時間未満の人を中間グループ、7 時間以上の人を長睡眠グループに分け、アルバイトの就労時間と比較し、その結果を図 2-4-1 で示す。

図2-4-1 睡眠時間とアルバイト就労時間の比較

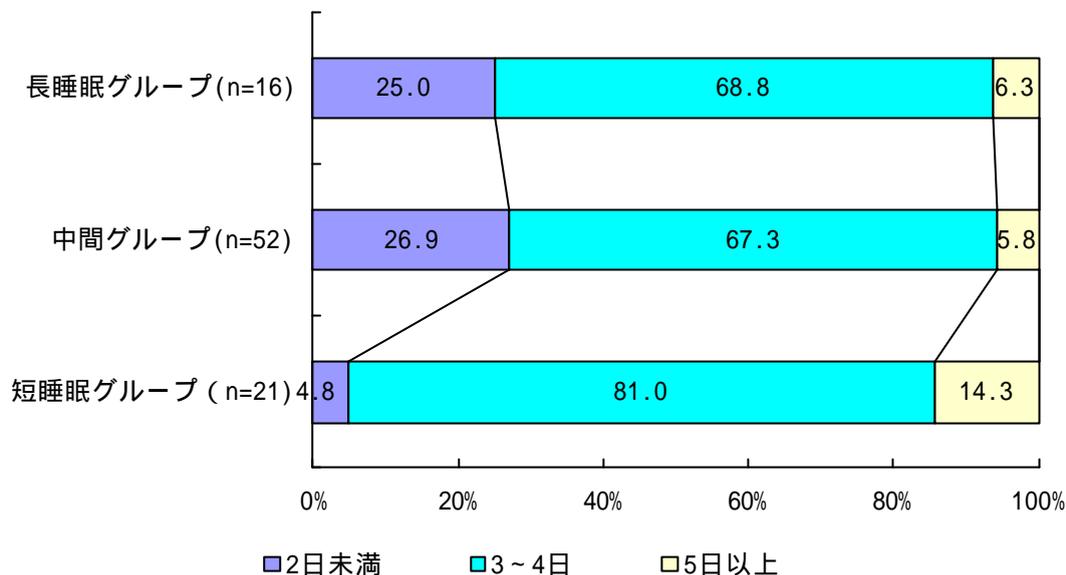


図 2-4-1 からいえることは、長睡眠グループと中間グループを比べると大きい差はなかったが、その二つのグループと短睡眠グループとを比べてみると、差が現れた。長睡眠グループと中間グループでアルバイトを週 2 日未満入っている人は約 25%前後なのに対し、短睡眠グループは約 5%であった。次にアルバイトを週 5 日以上入っている人に着目してみる。すると、長睡眠グループと中間グループは約 6%前後なのに対し、短睡眠グループは約 14%であった。やはり、アルバイトの就労時間は睡眠時間に影響していると言える。

(2) パソコンの web サイト閲覧時間と睡眠時間の比較

今や私たちの生活に欠かすことのできないパソコン。半分以上の学生がパソコンを趣味として使用している。パソコンの web サイト閲覧時間と睡眠時間を比較し、その結果を図 2-4-2 で示す。

図2-4-2 パソコンのwebサイト閲覧時間と睡眠時間の比較

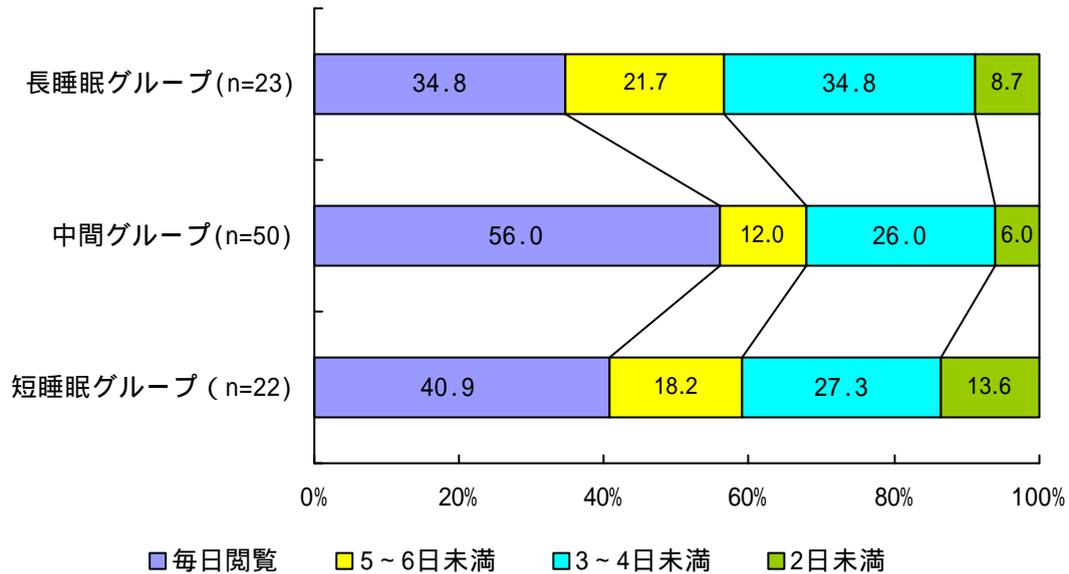


図 2-4-2 からいえることは、長睡眠グループ・中間グループ・短睡眠グループ全てのグループに似たような傾向が見られることがわかる。この結果から、パソコンの web サイト閲覧時間は睡眠時間にそれほど影響は及ぼしていないことがわかる。

2.5 授業出席状況と単位取得状況

(1) 授業出席状況とパソコンの有無

学生の授業に対しての取り組み具合は、“ほとんど出席している”が約 42%、“ほぼ出席している”が約 43%、“やや欠席している”が約 12%、“ほとんど欠席している”が約 4%であった。この設問を、“やや欠席している”と“ほとんど欠席している”を一つにまとめて欠席グループにして、ほとんど出席グループとほぼ出席グループと欠席グループの三つに分け、パソコンの有無と比較し、その結果を図 2-5-1 で示す。

図2-5-1 授業出席状況とパソコンの有無

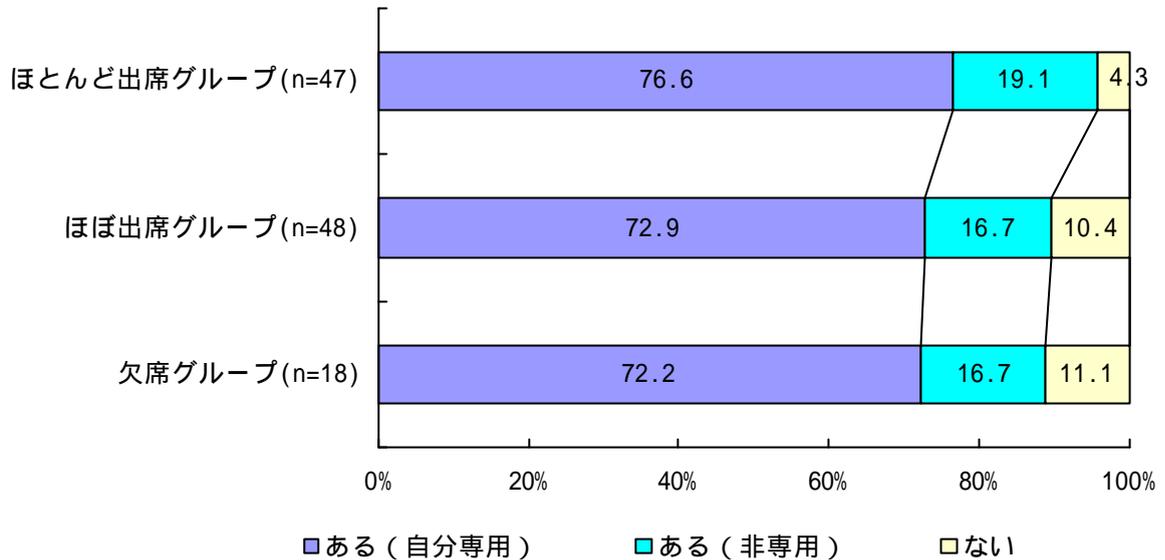


図 2-5-1 からいえることは、ほとんど出席グループ・ほぼ出席グループ・欠席グループ全てのグループに似たような傾向が見られることがわかる。しかし、パソコンがないという項目に着目してみると、出席グループと欠席グループでは差が現れる。授業にほとんど出席していると答えた学生の約 96%がパソコンを所持していて、所持していない学生が約 4%であった。この項目だけを見ても、ほとんど出席しているグループが他の 2 つのグループよりも少ないことがわかる。

よって、ほとんど出席グループは他のグループよりもパソコン所持の傾向が高いことがわかる。

(2) 単位取得状況とパソコンの有無

学生の単位取得状況は、“すべて取得している”が31%、“ほぼ取得している”が約57%、“あまり取得していない”が約12%、“ほとんど取得していない”が約1%であった。この設問を、全取得グループとほぼ取得グループと取得不足グループの3つに分け、パソコンの有無と比較し、その結果を図 2-5-2 で示す。

図2-5-2 単位取得状況とパソコンの有無

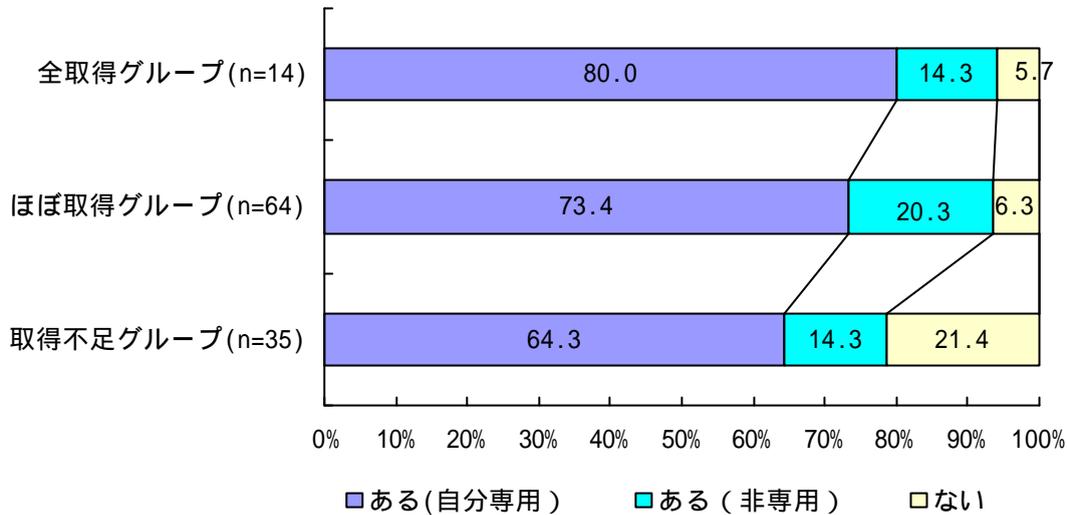


図 2-5-2 からいえることは、全取得グループとほぼ取得グループには似たような傾向が見られることがわかる。しかし、取得不足グループに着目してみると、パソコンを所持していない学生の方が、自分専用ではないがパソコンを持っている学生を上回っている。三つのグループをパソコンの有無について総合的に見ても、パソコンを所持していない学生が、全取得グループとほぼ取得グループが約 6%なのに対し、取得不足グループが約 21%もいた。

よって、単位を取得している生徒のほうがパソコン所持率は高いことがわかる。

第3章 まとめと今後の課題

学生のパソコン所持率が高い点から推測してみても、パソコンが私たちの生活の一部になりつつあることがわかる。また、パソコンを購入したきっかけを見てみると、勉強や仕事に必要と考えている人がほとんどで、この結果からもパソコンの有無と学習意識は繋がっているのではないかと推測される。逆に、パソコン購入のきっかけは、周囲のパソコンユーザーの増大や商品自体の価格低下は関係していないことがわかった。

まず、大学入学意図とパソコンの有無を比べると、入学意図で“やりたいことをみつけるため”などと答えた学生の方が、“学生生活を楽みたいから”などと答えた学生よりも、パソコンを所持しているという結果が出た。ようするに、学習志向の高いグループのほうがそうでないグループよりもパソコンを持っているということになる。

続いて、パソコンのwebサイト閲覧時間と睡眠時間を比較してみる。その結果には、たいした差が見られなかった。なので、webサイト閲覧と睡眠時間には関係がないと推測される。

次に、授業出席状況とパソコンの有無を比べると、パソコンを持っている学生の方が出席率は高いことがわかった。また、同じように、単位取得状況とパソコンの有無を比べてみても、パソコンを持っている学生の方が単位取得率は高いことがわかる。この結果から、パソコンの有無と学習状況にはひとつの決まった傾向が現れ、関連性があるということが見てとれる。

<反省>

調査をし、集計を行って、初めて足りない項目があることに気付いた。特に学習状況に関しての設問をもっと増やせばよかった。

パソコン購入のきっかけについて、もっと細かく聞く設問を作ればよかった。

テーマを決定した時点で、もっと学習状況や学生生活について深く追求できる項目を立てるべきだった。

単一回答ではなく、複数回答にするべき設問があった。

参考文献

橋本良明 「インターネットの利用動向に関する実態調査報告書 2000」
総務省通信総合研究所 2001.1

<http://members.jcom.home.ne.jp/atusirin/pc4.19.html> 社団法人中央調査社

<http://www.shinmai.co.jp/newlink/2001/01051001.htm> 情報センター調査 2001.5

パソコンと携帯電話の利用状況に関する調査

情報学部 広報学科 ハツ橋ゼミ 平野 彩

ゼミ研究のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

携帯電話についてお聞きします。

問1. 現在携帯電話を持っていますか。 (n=113)

1. 持っている 100.0	2. 持っていない 問4へ 0
----------------	-----------------

問2. 携帯電話の一日のメール送受信頻度はどのくらいですか。(1つに) (n=113)

1. 5通以下 23.0	2. 6~10通 42.5	3. 11~15通 15.0	4. 16~20通 8.8
5. 21~30通 5.3	6. 30通以上 5.3		

問3. あなたは1週間のうち何日程度携帯電話のWebサイトを閲覧していますか。

(1つに) (n=113)

1. 1~2日 16.8	2. 3~4日 20.4	3. 5~6日 15.0	4. 毎日閲覧している 37.2
5. ほとんど閲覧しない 10.6			

パソコンについてお聞きします。

問4. 現在自宅にパソコンがありますか。 (n=113)

1. 自分専用のパソコンがある 問5へ 74.3	2. 自分専用ではないがある 問6へ 17.7
3. ない 問12へ 8.0	

問5. パソコンを購入したきっかけは何ですか。(A~Dの項目ごと1つずつに) (n=84)

	1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
A. インターネットを楽しみたい	69.0	22.6	3.6	1.2	3.6
B. 勉強や仕事に必要	81.0	16.7	2.4	0	0
C. 価格低下により購入しやすくなった	3.6	20.2	26.2	31.0	19.0
D. 周囲にパソコンユーザーが増えた	17.9	27.4	23.8	17.9	13.1

問 6. パソコンを購入してからどのくらいですか。(1 つに) (n=105)

1. 1年未満 10.5	2. 1年～2年未満 31.4	3. 2年～3年未満 21.9
4. 3年～4年未満 9.5	5. 4年～5年未満 8.6	6. 5年以上 18.1

問 7. パソコンの利用時間は一日どの程度ですか。(1 つに)

(音楽のみ・動画のみの利用は除く) (n=105)

1. 30分未満 18.1	2. 30分～1時間未満 18.1	3. 1時間～1時間半未満 33.3
4. 1時間半～2時間未満 10.5	5. 2時間～2時間半未満 7.6	
6. 2時間半～3時間未満 2.9	7. 3時間以上 9.5	

問 8. パソコンはネット接続していますか。 (n=105)

1. 接続している 90.5	2. 接続していない 問13へ 9.5
----------------	---------------------

問 9. パソコンの一日のメール送受信頻度はどのくらいですか。(1 つに) (n=95)

1. 2通以下 54.7	2. 3～5通 24.2	3. 6～10通 11.6	4. 11通以上 9.5
--------------	--------------	---------------	--------------

問 10. あなたは1週間のうち何日程度パソコンの web サイトを利用していますか。

(1 つに) (n=95)

1. 1～2日 8.4	2. 3～4日 28.4	3. 5～6日 15.8	4. 毎日閲覧している 47.4
5. ほとんど閲覧しない 0			

問 11. 目的別のパソコンの利用時間を、おおよそのパーセントで教えてください。

(全体で 100%) (n=95)

1. 趣味	66.35	%		
2. 学習	27.04	%		
3. 仕事	6.51	%	合計	100 %

パソコンが自宅にない方のみにお聞きします。

問 12. パソコンの購入予定はありますか。(1 つに) (n=18)

1. ある 17.6	2. ない 52.9	3. わからない 29.4
------------	------------	---------------

学生生活についてお聞きします。

問 13. 大学に入った目的は何ですか。(1 つに) (n=113)

- | | | |
|----------------------|---------------------|-------------|
| 1. 就職に有利だから 12.4 | 2. 学生生活を楽みたいから 18.6 | |
| 3. やりたい事を見つけるため 45.1 | 4. 親や先生に勧められたから 3.5 | 5. その他 20.4 |

問 14. 大学生活の中で授業や学習以外の時間は何をしてお過ごししていますか。(2 つ以内に) (n=113)

- | | | |
|------------------|-------------------------|------------|
| 1. 友人との交流 55.8 | 2. 部活や委員会またはサークル活動 34.5 | |
| 3. 就職するための準備 5.3 | 4. アルバイト 58.4 | 5. 趣味 23.9 |
| 6. ギャンブル 5.3 | 7. 旅行 0.9 | 8. その他 6.2 |

問 15. 部活や委員会またはサークルに参加していますか。(1 つに) (n=113)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 部活や委員会に参加している 16.8 | 2. サークルに参加している 45.1 |
| 3. すべてに参加している 2.7 | 4. 参加していない 問 17 へ 35.4 |

問 16. 部活や委員会またはサークルに熱心に取り組んでいますか。(1 つに) (n=74)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 熱心に取り組んでいる 41.9 | 2. やや熱心に取り組んでいる 31.1 |
| 3. どちらともいえない 14.9 | |
| 4. あまり熱心には取り組んでいない 6.8 | 5. 熱心には取り組んでいない 5.4 |

問 17. 授業の出欠状況について。(1 つに) (n=113)

- | | | |
|-------------------|------------------|------------------|
| 1. 出席している 41.6 | 2. ほぼ出席している 42.5 | 3. やや欠席している 12.4 |
| 4. ほとんど欠席している 3.5 | | |

問 18. 単位取得状況について。(1 つに) (n=113)

- | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|
| 1. すべて取得している 31.0 | 2. ほぼ取得している 56.6 | 3. あまり取得していない 11.5 |
| 4. ほとんど取得していない 0.9 | | |

アルバイトについてお聞きします。

問 19. アルバイトはしていますか。 (n=112)

- | | | |
|--------------|----------------------|------------|
| 1. している 78.8 | 2. していない 問 22 へ 20.4 | 3. 無回答 0.9 |
|--------------|----------------------|------------|

問 20.現在のあなたのアルバイトの種類は何ですか。(当てはまるものにいくつでも)

(n=88)

1. 飲食店員 53.4	2. 販売員(レジ) 23.9	3. 事務・営業 2.3
4. イベント系 0 1.1	5. ガソリンスタンド 1.1	6. 引っ越し・運送
7. 登録制派遣バイト 13.6	8. 家庭教師・塾講師 3.4	9. その他 15.9

問 21.アルバイトは週に何日程度入っていますか。(1 つに) (n=89)

1. 2日未満 21.3	2. 3~4日 70.8	3. 5~6日 7.9	4. 7日 0
--------------	--------------	-------------	---------

問 22.睡眠時間は一日平均どのくらいですか。(1 つに) (n=113)

1. 3時間未満 0.9	2. 3~5時間未満 21.2	3. 5~7時間未満 55.8
4. 7~9時間未満 20.4	5. 9時間以上 1.8	

問 23.睡眠時間は十分取れていますか。(1 つに) (n=113)

1. 十分取れている 15.9	2. ほぼ取れている 53.1	3. あまり取れていない 28.3
4. ほとんど取れていない 2.7		

最後にあなた自身についてお聞きします。

問 24.あなたは現在一人暮らしですか。実家暮らしですか。 (n=113)

1. 一人暮らし 57.5	2. 実家 38.9	3. その他 3.5
---------------	------------	------------

問 25.性別 (n=113)

1. 男 43.4	2. 女 56.6
-----------	-----------

問 26.学年 (n=113)

1. 1年 0	2. 2年 50.4	3. 3年 37.2	4. 4年 12.4	5. その他 0
---------	------------	------------	------------	----------

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。